

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館収蔵品データベース等システム管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail：c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,021 千円 (前年度予算額：1,021 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,021	0	0	0	0	0	0	0	1,021
要求額	1,021	0	0	0	0	0	0	0	1,021
決定額	1,021	0	0	0	0	0	0	0	1,021

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県民の方々に、博物館収蔵品を活用した学習機会の提供や学芸員の調査・研究のための資料情報管理が行えるようにするとともに、博物館収蔵品に関する情報資産の管理や県内の地質情報等をインターネットでの公開等にかかるシステムの運用を行います。

また、「Web版岐阜県地質図」の管理・運用を行い、県民の生活の基盤となる地質情報を発信することで、豊かな「ふるさと岐阜」の自然環境の基盤となる県内の地質情報をわかりやすく提供します。加えて、岐阜県における主な災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できる県内の地学情報を提供します。

(2) 事業内容

- 収蔵資料管理システムの運営
 - ・人文・自然が所蔵する収蔵品のデジタルデータを岐阜県博物館収蔵品データベースへ入力する。
 - ・岐阜県博物館収蔵品データベースを利用した学芸員の業務効率化のための研修等を実施する。
- 岐阜県博物館ホームページの運営
 - ・閲覧者が興味関心を持てるように岐阜県博物館の最新情報を発信する。
- Web版岐阜県地質図
 - ・岐阜県内の地質や、災害や環境保全、産業振興、教育、観光などに活用できる地質に関わる様々な情報を提供する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	49	プリンタトナー A4カラーレーザー専用上質普通紙(帳票用)
使用料	972	サーバーレンタルサービス(30G)、収蔵品データベースシステム、公開用サーバーシステム(地質図)
合計	1,021	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の方々に博物館収蔵品を活用した学習機会の提供や学芸員が調査・研究に利用する情報資産の管理や県内の地質情報等の発信を行うために、収蔵品データベースシステム及びインターネットでの公開をする。また、博物館ホームページの情報更新を毎月行う。さらにWeb版岐阜県地質図を災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できるように、最新の調査・研究をもとにした県内のあらゆる地質に関する情報を発信することで、常に新しい博物館としての情報を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R6)	
					目標	達成率
ホームページアクセス数	0	110,175	137,827	120,000	120,000	115%

※現行のホームページは平成27年度より運用している。

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>（1）収蔵資料管理システムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品データベースへの1件ごとの詳細な資料項目の入力を継続。 ・新任職員（学芸員）向けの研修会を実施。 ・収蔵品データベースのインターネット公開の推奨。 ・収蔵品データベースを利用した出入庫管理の確認。 <p>（2）岐阜県博物館ホームページの管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧者が興味関心を持てるように最新情報を提供。 ・ホームページからの催事申込み受付を実施、利便性を向上を図る。 <p>（3）Web版岐阜県地質図の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できるように、県内の地質に関する情報を発信。 <p>収蔵品データベースへの1件ごとの詳細なデータ入力及びインターネットでの資料データの公開を進めた。また、博物館ホームページの表現力の向上と博物館最新情報の提供、催し物の申込みの利便性の向上により、催し物を中心とした来館者数が増加した。</p> <p>収蔵品データベースの利便性の向上で業務の改善が見込まれることや博物館ホームページやWeb版岐阜県地質図での情報提供を継続することで、県民の学習機会の増加や来館者数の増加が期待できる。</p>
	<p>指標① 目標：120,000 実績：93,858 達成率：78%</p>

令和3年度	<p>(1) 収蔵資料管理システムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品データベースへの1件ごとの詳細な資料項目の入力を継続。 ・新任職員(学芸員)に新規ID発行、マニュアル資料を配布。 ・収蔵品データベースのインターネット公開拡充を各係へ依頼。 ・収蔵品データベースを利用した出入庫管理データ入力の確認。 <p>(2) 岐阜県博物館ホームページの管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報の更新・発信、申込受付を継続。 <p>(3) Web版岐阜県地質図の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジオランドぎふ」ページの運用を継続。 <p>収蔵品データベースにおける公開データの拡充を図り、とくにコロナ禍で非接触音声ガイドとして注目された「ポケット学芸員」は内容の見直し・修正と新規公開を拡充した。</p> <p>ホームページは、コロナ対策等、頻繁な対応の変更に合わせて、つど頻繁な更新を行い、最新情報の発信・告知に努めた。</p> <p>来館動機にツイッター記事を挙げる利用者も多く、ホームページの利活用は必須かつ効果が大きいため、引き続き利用しやすく、情報収集しやすいホームページとして運用を図る。</p>
指標① 目標：120,000 実績：110,175 達成率：91.8%	
令和4年度	<p>(1) 収蔵資料管理システムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品データベースへの1件ごとの詳細な資料項目の入力を継続。 ・新任職員(学芸員)に新規ID発行、マニュアル資料を配布。 ・収蔵品データベースのインターネット公開拡充を各係へ依頼。 ・収蔵品データベースを利用した出入庫管理データ入力の確認。 ・帳票出力機能の活用による書類の自動生成を追加。 <p>(2) 岐阜県博物館ホームページの管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報の更新・発信、申込受付を継続。 <p>(3) Web版岐阜県地質図の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジオランドぎふ」ページの運用を継続。 <p>収蔵品データベースにおける公開データの拡充を図り、「ポケット学芸員」と公開用サイトの公開件数を拡充した。</p> <p>ホームページは、サイトマップの再構築と催事申し込み受付フォームの刷新を図り、わかりやすい情報発信と利用しやすさを実現した。</p> <p>ネット申し込みの利用促進、来館動機付け等、ホームページの利活用は必須かつ効果が大きいため、引き続き利用しやすく、情報収集しやすいホームページとして運用を図る。</p>
指標① 目標：120,000 実績：137,827 達成率：115%	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	博物館資料である収蔵品は重要な地域資産も含まれており、その収蔵品の管理を行う上で収蔵品データベースは必要不可欠である。また、博物館学芸員の業務の効率化は地域資産等の収蔵品を確実に守護することにつながるため、この事業の必要性は高い。また、地質情報は県民の生活の基盤となることに加え、災害や環境保全、産業振興、教育、観光などに必要な情報の1つである。 このように、県民に広く博物館や県内の地質情報等を認知してもらうため、この事業は必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	収蔵品の詳細データや県内の地質情報の更新及びインターネット公開用の資料データの検討が進んでおり、県民への情報検索にかかる利便性が向上した。学芸員の利用度が上がり事業の効果が現れている。また、博物館ホームページや県内の地質にかかわる様々な情報を見ての来館や講座等の申込みや県内の地質に関する情報提供が増加しており、事業の効果が現れている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	資料管理を紙媒体で行っていた時の資料検索に比較して本事業のシステムを用いた検索を行った場合、年間で762時間の短縮ができ経費の削減につながった。 ホームページにおける催し物の申込みの利便性の向上により、申込み時における不具合が解消され、受付に関する業務の効率化につながった。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 収蔵資料データベースが完成すれば、インターネットでの全資料情報の公開が可能となる。国の分野横断統合ポータルへも情報提供ができ、県内施設として国と地方をつなぐ役割を果たす。膨大な資料のデータベースを完成させる作業と併行して県民の方々に有益な情報を少しでも多く公開できるよう業務の効率化が課題である。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民のニーズである収蔵品情報の公開を行うためには、収蔵品の詳細データの完全入力やインターネット公開用の資料データの検討が必要であり継続すべき事業である。また、博物館ホームページによる情報提供やWeb版岐阜県地質図による県内の地質全般の情報を提供するサービスによって来館者数が増加していることから継続すべき事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	